

生涯学習 つうしん

国見町教育委員会生涯学習課
 (観月台文化センター)
 ☎(585)2676 FAX(585)2707
 E-mail shogai@town.kunimi.fukushima.jp
<https://www.town.kunimi.fukushima.jp/site/kangetsudai/>

リュッケ じかん LYKKE 時間

第5話「生きる力」とは？

文部科学省は家庭教育のあり方を「家族との触れ合いを通じ[生きる力]の基礎的な資質や能力を育成する」としています。さて、「生きる力」とは何でしょう？ 子どものことを考えると同時に、私たち大人の「生きる力」も考える必要があります。なぜなら、子どもたちは私たち大人を实によく見ているからです。デンマークでは、自己決定こそが「生きる力」であり、幸せな人生には欠かせないと考えられています。この考えは、家庭での教育方針にも反映されます。この夏休み、わが子の、そして自身の「生きる力」について考えてみてください。



自分の人生を自分の足で歩くこと(自己決定)が幸せな人生、と考えるデンマークの人々
 文: 柴田千賀子(国見町出身の保育研究者、仙台大学准教授)

よみきかせみみずく 10周年記念講演

◆日時 9月1日(日)午後1時30分から
 ◆会場 観月台文化センター大研修室
 本の楽しみを知ってもらうために、読み聞かせや手遊びなど活動を始めて10年がたったことを記念して講演会を開催します。ぜひ、ご参加ください。

阿津賀志学級・成人学級・女性教室

三学級合同学習「町長講話」



これからの国見町について語る太田町長

阿津賀志学級・成人学級・女性教室合同の三学級学習「町長講話」が7月12日、観月台文化センターで開催されました。合同学習では、太田久雄町長が「復興・絆、交流連携」これまで、そしてこれからの国見町の歩み」と題して講話をしました。はじめに、国見町のイベントや産業、文化、食などこれまでの様々な様子をまとめたDVDが上映され、

復興に向けて駆け抜けた国見町の取り組みを振り返りました。続いて太田町長が、道の駅国見あつかしの郷を核とした地域の活性化や交流連携などに関する今後の国見町の取り組みについての話をしました。その中で太田町長は、「国見町の交流連携をこれまでに以上に深めていくとともに、国見町の未来につながる基盤づくりを進めていきたい」と今後の展望を語りました。

キッズシアターを開催

迫力ある生の舞台に感動！

今年度の「キッズシアター」は7月9日、観月台文化センターホールで開かれ、国見小学校の全児童が、ミュージカル「セロ弾きのゴーシュ」を観賞しました。児童たちは、芝居や歌、踊りなどの迫力ある生の舞台を真剣に見入り、その後に行われたワークショップでは、舞台上の役者たちの動きに合わせて大きな声を上げ、会場が一体感に包まれました。



会場が一体となったワークショップ

くみスポーツサークルがスタート

楽しくニユースポーツを体験



うまく投げられたよ!!

第1回目の「くみみスポーツサークル」が7月6日、上野台体育館で行われました。この日は、ディスク(円盤)を投げて誰でも手軽に的抜きをするニユースポーツのディスクゲッターを幅広い世代と一緒に体験しました。参加者がディスクの抜きするたび、会場には歓声が響きわたりました。今後も定期的に4回開催します。随時の申込みは観月台文化センターで受け付けています。なお、この事業は東京2020応援プログラムとしても開催しており、参加



みんなでオリンピックを盛り上げよう

者全員が来年東京で開催されるオリンピック・パラリンピック大会への機運を醸成しました。

激励金交付・県民スポーツ大会

国見町代表が奮闘！



激励金を手に活躍を誓うみなさん

町と町体育協会(佐藤利光会長)は7月9日、観月台文化センターで、県民スポーツ大会に国見町代表として参加するオール国見(ソフトボール競技)、ブラックパンサー(家庭バレーボール競技)、国見ST(ソフトテニス競技)の3団体に激励金を交付しました。県民スポーツ大会は7月14日、21日に開催され、各競技で国見町代表が熱戦を繰り広げました。結果は、国見STが第3位に入賞しました。

子ども司書講座が開講

めざせー町の読書リーダー



書庫を見学する子どもたち

町の読書リーダーを育成する子ども司書講座の開講式が6月22日、観月台文化センターで行われ、参加した受講生8人と子ども司書12人は、菅野敏彦国見小学校校長から「将来のためにしっかりと学んでください」とあいさつを受けました。開講式後には、司書についての講話があり、センター内の図書施設を見学した子どもたちは、司書の仕事に興味津々。やる気に満ち溢れていました。

観月台文化センター開館25周年記念事業

観月台クラシック・フェスティバル

クラシックコンサートに町の農産物PRを組み合わせた初の音楽祭「観月台クラシック・フェスティバル」が9月と10月に全6回開催します。各回とも「ベーゼンドルファー」を中心にバイオリンやチェロなどでクラシックの名曲を演奏します。終演後には演奏者が農家と対談するほか、町の農産物などをPRするマル



正戸里佳さん(バイオリン)が表敬

シエも開催します。詳しくは観月台文化センターへお問い合わせください。

観月台文化センター常設展示
石原コレクション 作品紹介 Vol.7



題名 ムーザンの風景
 作家 木村 忠太 (きむら ちゅうた)
 カンヴァス・油彩
 190×240mm